

令和3年度 絵本に関するアンケート結果

アンケートにご協力ありがとうございました。結果をご報告します。

配布 202 回収 152

1 回答者の家庭での立ち位置

子供たちの父親 9 子供たちの母親 145 子供たちの祖父母 2 無回答 4

ほとんどお母さんが答えられています、中には、お父さんが答えていたり、お父さんとお母さんが答えられていたり、おじいちゃん、おばあちゃんも一緒に答えておられる家もありました。

2 子供の人数

1人 37 2人 84 3人 23 5人 2

子供の年齢

0歳 16人 1歳 30人 2歳 27人 3歳 46人 4歳 42人 5歳 24人

6歳 23人 7歳 16人 8歳 8人 9歳 4人 10歳 6人 11歳 4人

12歳 1人 13歳 3人 14歳 2人 15歳 1人 18歳 2人

3 絵本の読み聞かせをしますか

する 138人 しない 13人 無回答 1人

読み聞かせる頻度

毎日 29人 ほぼ毎日 3人 週6～7回 1人 週5回 3人

週4～5回 1人 4回 1人 4～3回 1人 週2回

決めていない 91人 ・日によって変わる・遅くなると読めません

かなり多くの方々が、読み聞かせをしています。喜ばしいことです。ぜひ、続けてあげてくださいね。遅くなると読めないというのならば、子守歌でも構いません。(子守歌も一つのお話です)

読み聞かせをしない理由

時間がない 7人 子供が聞かない 1人 子供が自分で読む 4人 忙しい 2人

・読んでと、頼まれたとき読む・子供も自分も絵本が嫌い

仕事があつて、家事があつて、さらに育児。確かに大変でしょう。時間的にも気持ちの上でも余裕が持てないのもわかります。でも、1冊の絵本を読むのに、大した時間はかかりません。5分10分もあれば十分読み聞かせられます。あとは、その気だけです。ちょっと頑張ってみてください。

4 読み聞かせる人

父親 82 母親 138 祖父母 32 兄弟姉妹 15

5 読み聞かせる時

就寝前 61 お昼寝前 2 休日 15 子供が望むとき 59 決めていない 6

夕食前 3

6 いつまで読み聞かせをしますか

字を覚えるまで 2 自分で読めるようになるまで 8 子供が望む限り 112 決めていない 23 無回答 2

7 図書館利用回数

月3回 1 月2回 11 月1回 9 月数回 1
年5回 4 年4回 2 年3回 5 年2,3回 2 年2回 1 年1,2回 2 年1回 2
行かない 104 無回答 2

8 家で購入する絵本の冊数（園で購入している絵本を除く）

月6冊 1 月4冊 3 月3冊 2 月2冊 4 月1, 2冊 1 月1冊 8
年20冊 1 年10～20冊 1 年12冊 1 年10冊 6
決めていない 83 買わない 16（古い本がたくさんある）

9 読み聞かせている絵本

縁から持ち帰る絵本 133 昔話 28 物語 42 童話 29 民話 5
自分が読んでもらった絵本 36 図鑑 43 乗り物の絵本 49 動物の絵本 47
生き物の絵本 21 食べ物の絵本 35 季節に合った絵本 28 行事の絵本 15
仕掛け絵本 30 子供の望む絵本 95 ベネッセ 26 図書館で借りた本 21
決めていない 10・人や親戚からもらった絵本 2
・英語の絵本・英語図鑑・マクドナルドの本・洋書絵本・少しずつ読み聞かせる絵本

10 親の好みの絵本

・あらぺこあおむし 11・ぐりとぐらのシリーズ 10・昔話 10・かこさとし 7
・童話 7・だるまさん「が-の-と」 6・物語 6・絵が可愛い絵本 6・仕掛け絵本 5
・ヨシタケシンスケ 5・五味太郎 4・動物の出てくる絵本 4・特に好みはない 4
・自分にも子供にもわかりやすい絵本 4・絵が可愛い絵本 4・いないいないばあ 3
・図鑑 3・ねずみくんシリーズ 3・ひゃくまんかいきたねこ 3・面白い絵本 3
・自分で読んでもらえる絵本 3・おむつのなかみせてみせて 3・おべんとうバス 2
・かいじゅうたちのいるところ 2・きんぎょがにげた 2・こぐま社 2
・14匹のシリーズ 2・スイミー 2・ちょっとだけ 2・林明子
・はじめてのおつかい 2・ベネッセ 2・色々 2・絵が華やかな絵本 2

以下1票

・あさえとちいさいいもうと・あっちゃんあがつく・アンパンマン・いわむらかずお
・エリック・カール・おなべおなべにえたかな・おおきなおおきなおいも
・オニのサラリーマン・かがくのはなし・かばちゃん漢字入門・カレーライスの話
・かばくん・季節に合った絵本・恐竜の絵本・くすのきしげのり・ぐるんぱのようちえん
・くれよんのくろくん・くろくまくんトイレでちー!・こどものとも
・ゴリラのぱんやさん・ごろごろにゃーん・コロんかいぞくだん・こんとあき
・こんなにおおきくなりました・サンドイッチサンドイッチ・11匹のねこのシリーズ

- ・ずっといっしょ・ずーっとずーっとだいすきだよ・ぞうくんのさんぽシリーズ
- ・だいすきぎゅっぎゅっ・たべもの・ダンゴムシの絵本・ちびゴリラのちびちび
- ・てをたたきましょ・どうぞのいす・とっきゅうサイクルショップ・トラックでいこう
- ・とんとんパンやさん・のらねこぐんだん・のりもの・のろまのローラー
- ・ノンタンシリーズ・ぱくぱくはんぶん・はてなシリーズ・ばーなーなのうた
- ・ばばばあちゃんのシリーズ・パンダせんとう・ぴかくんめをまわす
- ・ひつじばあさんのふとん・ひょうたんころころ・ぷくちゃんのばんつ・ぷりんちゃん
- ・ぺこぺこ・ぼんちんぱん・松谷みよ子・まどからおくりもの・まるのおはなし・ミッケ!
- ・ミッフィー・民話・めっきらもっきらどおんどん・もうぬげない・モチモチの木
- ・やさいさんシリーズ・ラチとライオン・わたしの手・わたしのワンピース
- ・子供と一緒に楽しめる絵本・友達との物語・やさしい気持ちになれる絵本
- ・トイレの絵本・知識が増える絵本・話が分かりやすく、絵がきれいな絵本
- ・子供がわかりやすい絵本・ハッピーエンド・字が少ない絵本・思いやりが伝わる絵本
- ・話が簡単な絵本・物語が想像できるもの・付録で動物が出てくるもの
- ・子供が読みやすい絵本・お姫様の絵本・子供が主人公の話・学習の絵本
- ・リズムに乗りやすい絵本・冒険もの・笑える絵本 他

非常にバラエティーに富んだ結果になりました。よろしければそれぞれ参考にしてみてください。

11 子供の好みの絵本

- ・乗り物 20・仕掛け絵本 17・動物 16・図鑑 15・だるまさん「が-の-と」 11
- ・虫の絵本 9・食べ物 8・物語 7・はらぺこあおむし 7・ベネッセ 6
- ・ぐりとぐらのシリーズ 5・昔話 4・おべんとうバスのかくれんぼ 4
- ・とうちゃんのちゃんぽんめん 3・思いやりが育つ絵本 3・擬音の絵本 3
- ・車の絵本 3・面白い絵本 3・体を動かして楽しめる絵本 3・くだもの 2
- ・せかいいちおいしいレストラン 2・こぐま社 2・きんぎょがにげた 2・童話 2
- ・トミカ 2・だるまちゃんのシリーズ 2・どんぐり村のシリーズ 2・かばくん 2
- ・なっちゃんのバケツ 2・ねこぶたニョッキのお使い 2・ねないこだれだ 2
- ・ノンタンのシリーズ 2・はたらくるま 2・いあいはいないばあ 2

以下 1 票

- ・あさえとちいさいいもうと・あつぷっぷ・あかまるちゃんくろまるちゃん
- ・いたずらきかんしゃちゅうちゅう・いらんわからん・うごきえほん
- ・うんちがばーとん・歌う絵本・うんこの出るまで・英語の絵本
- ・おとうさんがねるときは・おまえうまそうだな・おばけ・おとのなるえほん
- ・おやおやおやさ・おならをしたターボくん・おはよう!ごみしゅうしゅうしゃ
- ・おつきさまこんばんは・おにぎり・がたんごとんがたんごとん・かんかんかん
- ・数を数える絵本・カレーライス・がんばれパトカー・かおかおどんなかお

- ・キャラクターもの・きゅうりのおでかけ・きゅうきゅうしゃののびるくん・北風と太陽
- ・クリスマストレインしゅっぱつ・けんけんぱ・こぐまちゃん・こどもとしぜん
- ・ことば絵本・コッコさんシリーズ・さるるるる・サンタクロースのおくりもの
- ・ざっくんショベルカー・さくらんぼ・三枚のお札・さんびきのやぎのがらがらどん
- ・14匹のシリーズ・しんかんせんでいこう・数字の絵本・そらまめくんシリーズ・生物
- ・だいこんごぼうにんじん・ブルドーザーとなかまたち・わにわにくんのシリーズ
- ・どうぞのいす・野菜・間違い探し 他

こちらも、非常にバラエティに富んだ結果になっています。親と子供の好みが、必ずしも合うわけではありませんね。でも、絵本の環境を整えるのは親、絵本を読み聞かせるのも、基本的には親です。子供にとって、心地よい絵本環境を整えてあげましょう。

12 読み聞かせに期待すること

文字を教える 37 読解力をつける 50 知識を教える 46 しつけに使う 10
 一緒に楽しむ 97 想像力を養う 72 感受性を養う 58 社会性を養う 9
 集中力をつける 43 聞く力をつける 61 スキンシップ 68 暇つぶし 4
 期待はしていない 5・ことばの理解度やどんな発達をするのかを知る・国語力を高める・英語に慣れ、親しむ

13 子供が手に取れる絵本の冊数

2冊 1 4冊 1 6冊 1 10冊 11 15冊 9 20冊 16 25冊 1
 20～30冊 1 30冊 35人 40冊 15 45冊 1 40～50冊 7 50冊 14
 50冊以上 2 60冊 3 68冊 1 70冊 1 70～80冊 1 80冊 5
 80～90冊 1 90冊 1 100冊 10 128冊 1 150冊 2 200～300冊 1
 300冊 1 3000冊 1 たくさん 1

絵本棚の様子

おもちゃばこと並べて、テレビのそば、

玄関、リビング、子ども部屋、寝室

三段ボックス、カラーボックス

家庭の事情もあるでしょうが、できる限り、おもちゃや、テレビのそばに絵本を置いたり、邪魔が入りやすいところで絵本を読み聞かせたりということはしないようにしてください。集中して絵本を楽しむことができなくなる可能性があります。

14 絵本の読み聞かせに関する悩み、質問、意見

- ・絵本が増えすぎて、整理、処分したいと思っていても、ふとした時に、思い出したように手に取っているの、整理するタイミングがわかりません 複数

はい、解ります。困りますよねえ。みんな困っていると思います。解決王をいくつか

- ① ベッドの下にスペースがあれば、本棚を横にして滑りこませる。本は重いので、ホームセンターなどでコマを買って取り付けましょう
- ② クローゼットの中に、丈夫な段ボール箱を重ねて、本棚代わりに。本、衣類が傷まな

いように、カバーをかけましょう。

③ お金に余裕があれば、トランクルームを活用する等。

試してみてください。

・読んであげたいが、時間がなくてなかなか読んであげられない 複数

確かに、時間というものには限りがありますからねえ。よくわかります。私事で恐縮ですが、「今日は、雨だから無し」「今日はお客さんが来るから無し」「今はコロナだから無し」などといえ、子どもたちは、それなりに納得しています。なぜできないのか、自分自身で納得いくように理由がつけられたら、それを子供に伝えてみてください。無理をしたら、続きません。

・そのページを読み終わってないのに、勝手にページをめくってしまう。

もしかすると、特にお気に入りのページがあって、早くそのページを親にも早く読んでほしいということかもしれません。しばらく付き合っけてあげてください。

・1 ページ読み終わる前に質問される。まだ字が読めない、質問攻めにあう。

出来るだけ付き合っけてあげてください。ただ、兄弟に読んでいるのなら、「あとでね」といってください。寝てしまっていないのなら、それから質問に答えてあげてください。

・子供たちが好みの絵本を選ぶが、早く寝かせたいので、読み聞かせの終了方法

時には、読み聞かせる絵本を親が選んでください。

・絵本に興味のない子供に、様々なジャンルの絵本を、努力してでも読み聞かせることは大事なことです

もちろんです。絵本が嫌いな子供なんていません。絵本に限りませんが、親が自分のために何かをしてあげることが、子供にとってこの上なくうれしいことなのです。といっても何でもいいというわけにはいきません。絵本を読み聞かせてあげるとは、まず間違いないと思いますよ。

・園での読み聞かせに「こどものとも」を用いる頻度

毎日です。

・絵本の選び方について

絵本は、多く、色々なジャンルがあります。だから、何を選べばいいか悩めますね。どんなに良い絵本でも、自分の子供が好まなければ意味がありません。インターネット使ったり、図書館に行ったりしえ、絵本の内容を試してみてください。その結果、わが子が楽しむだろうと思うなら、それが正解です。

・読み聞かせのコツ

絵本の読み聞かせに、特別な技術は必要ありません。だ着るだけ、ゆっくりと、穏やかな気持ちで読んであげてください。

・子供は図鑑は好きですが、絵本はあまり聞いてくれません。

図鑑を読んであげましょう

- ・寝る前に、一人一冊読みたい絵本を選ぶルールになっていますが、6歳4歳が選ぶ絵本が1歳には難しく、いつも邪魔してきて集中して読めないことが多く、上の子が怒っています。

子供たちが選ぶ絵本が違うのなら、基本的に小さい子供向けの絵本から読んであげましょう。大きい子供にも、小さい子供向けの絵本の内容はわかりますし、待つこともできますが、逆はそう簡単にはいきません。いきなりうまくはいかないかもしれませんが、そのうちにルールを覚えていきます。

- ・絵本を読むとき、そのまま文字、文章を読むのではなく、子供が気付いた絵に対する突っ込み、質問、逆に私が「なんでやと思う？」など、会話しながら1冊に時間をかけて読みます。たとえ1冊しか読めなくてもその会話のやり取りに深みや考察吸うことができれば実りあるものだと思います。

なるほど、楽しんでいらっやいますね。絵本は、本来最初から最後まで、通して読むものですが、親子で楽しんでいらっやるのなら、これはこれでいいでしょう。ぜひ続けてくださいね。

- ・年長になってからは、児童書を1章ずつ寝る前によ読み聞かせてみました（本人も毎晩「昨日の続き♪」と楽しみにしている）が、まだ絵本から離れるのはもったいないな〜とも。そのうち自分から長い文章のものも読み出すでしょうし、やっぱり今は、絵本がいいな♡と感じます

絵本がいいと思われるのもいいのですが…子供が楽しんでいるのなら、児童書を読むのも続けてあげましょう。子供はある程度大きくなると、長いお話を毎日少しずつ読み聞かせてもらうことも好むようになります。絵本を楽しんでもいいですが。児童書の読み聞かせ。ぜひ続けてあげてください

- ・絵本を1回読むと、次から次に全部読もうとするので、ご飯の用意などをふあじめると、機嫌が悪くなってしまう。

そんな時は、「この本だけ」とこちらが決めてしまいましょう。

- ・質問12を見て、ハッとしたのですが、スキンシップや遊び以外にいろんな目的があるんだなと気づきました。絵本の読み聞かせに限ったことではないですが、今まで教育的視点を持っていませんでした。そろそろ勉強とか、何かを学ぶ、教えるとかをやったほうがいいんですかね。

こんな意見がありました。とんでもない!すみません、私の質問が悪かったのかもしれませんがね。答えを見てください。スキンシップや、一緒に楽しむという意見が多くありませんか。特に期待していないとか暇つぶし(…正直)という意見もありました。教育が不必要とは言いませんが、絵本を読むときは、楽しんでください。教育的なものが入ると、絵本を嫌いになりかねません。教育は、学校や塾に任せましょう。今まで通り、絵本を楽しんでください。.